

稚内市一般廃棄物最終処分場整備・運営事業に係る 民間事業者の選定に関する客観的な評価の結果について

稚内市は（以下「市」という。）は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号。以下「P F I 法」という。）」第 8 条第 1 項の規定により、稚内市一般廃棄物最終処分場整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者を選定しましたので、同法第 11 条 1 項の規定により、民間事業者の選定に関する客観的な評価の結果を公表します。

平成 29 年 10 月 24 日

稚内市長 工 藤 広

1 特定事業の名称及び場所

- (1) 特定事業の名称 稚内市一般廃棄物最終処分場整備・運営事業
- (2) 特定事業の場所 稚内市新光町 1789 番地

2 特定事業の概要

本事業は、稚内市廃棄物最終処分場の埋立満了が近づいていることから、引き続き本市の廃棄物の適正な処理を行うことを目的とし、事業者が P F I 法に基づき、新たに一般廃棄物最終処分場を設計、建設し、運營業務、維持管理業務等を行うことを事業の範囲とする。

- (1) 事業方式
B T O (Build Transfer Operate) 方式
- (2) 事業期間
 - ・設計・建設期間 : 平成 30 年 1 月～平成 32 年 11 月 (2 年 11 ヶ月間)
 - ・運営・維持管理期間 : 平成 32 年 12 月～平成 42 年 11 月 (10 年間)
 - ・終了措置期間 : 平成 42 年 12 月～平成 43 年 5 月 (最大 6 ヶ月間)

3 事業者の選定方法

事業者の選定に当たっては、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 の規程の基づく、価格その他の条件により評価を行う総合評価一般競争入札により実施した。

4 事業者選定までの経過

時 期	内 容
平成 29 年 2 月 17 日 (金)	実施方針の公表
平成 29 年 2 月 24 日 (金)	要求水準書 (案) の公表
平成 29 年 2 月 24 日 (金)	実施方針等に関する説明会
平成 29 年 2 月 27 日 (月) ～3 月 7 日 (火)	実施方針等に対する質問等の受付
平成 29 年 4 月 11 日 (火)	実施方針等に対する質問等への回答の公表
平成 29 年 4 月 14 日 (金)	特定事業の選定・公表
平成 29 年 5 月 24 日 (水)	入札公告、入札説明書等の交付・公表
平成 29 年 5 月 26 日 (金)	基本協定書(案)及び事業契約書(案)の公表
平成 29 年 5 月 29 日 (月)	入札説明書等に関する説明会、現地見学会
平成 29 年 5 月 30 日 (火) ～6 月 6 日 (火)	参考資料の閲覧
平成 29 年 5 月 30 日 (火) ～6 月 6 日 (火)	入札説明書等に関する質問受付 (第 1 回)
平成 29 年 6 月 23 日 (金)	入札説明書等に関する質問回答の公表 (第 1 回)
平成 29 年 6 月 26 日 (月) ～7 月 4 日 (火)	参加表明書、参加資格審査申請書類受付
平成 29 年 7 月 10 日 (月)	参加資格審査結果の通知
平成 29 年 7 月 21 日 (金) ～7 月 28 日 (金)	入札説明書等に関する質問受付 (第 2 回)
平成 29 年 8 月 7 日 (月)	入札説明書等に関する質問回答の公表 (第 2 回)
平成 29 年 8 月 17 日 (木)	参加資格審査通過者別説明会 (対面的対話) の開催
平成 29 年 9 月 4 日 (月)	入札及び事業提案書の受付
平成 29 年 9 月 22 日 (金)	事業提案書に対するヒアリングの実施
平成 29 年 10 月 6 日 (金)	落札者決定・公表

5 審査の方法

最優秀提案者の選定方法は、入札参加資格審査と提案審査（入札価格の確認、基礎的事項の確認、総合評価）により実施し、このうち総合評価は、稚内市一般廃棄物最終処分場整備・運営事業者選定審査委員会（以下「審査委員会」という。）において実施した。

(1) 入札参加資格の確認

市は、平成 29 年 6 月 26 日から 7 月 4 日の期間に、参加表明書及び参加資格審査申請書類の提出があった 2 グループについて、入札説明書に記載の参加資格要件を、2 グループとも満たしていることを確認した。

入札参加表明グループ一覧

(代表企業五十音順)

1 岩田地崎建設グループ

代表企業	岩田地崎建設株式会社
設計企業	八千代エンジニアリング株式会社北海道事務所【協力企業】
工事監理企業	八千代エンジニアリング株式会社北海道事務所【協力企業】
施設建設企業	岩田地崎建設株式会社
	株式会社中山組
	株式会社富田組
	株式会社クリタス【協力企業】
運営管理企業	環境エンジニアリング株式会社
	株式会社クリタス【協力企業】

2 五洋建設グループ

代表企業	五洋建設(株)札幌支店
設計企業	五洋建設(株)札幌支店
	(株)ホクスイ設計コンサル
	中外テクノス(株)
工事監理企業	(株)ホクスイ設計コンサル
	中外テクノス(株)
施設建設企業	五洋建設(株)札幌支店
	(株)協和エクシオ
	藤建設(株)
運営管理企業	五洋建設(株)札幌支店
	(株)協和エクシオ
	藤建設(株)
	(株)稚内衛生公社【協力企業】

(2) 最優秀提案の選定

1) 入札価格の確認

市は、入札書類に記載された入札価格が、予定価格を超えていないことを確認した。各グループの入札価格は次に示すとおりである。

岩田地崎建設グループ	入札辞退
五洋建設グループ	4,053,000,000円
入札予定価格	4,053,322,000円

2) 提案内容の基礎的事項の確認

市は、事業提案書に記載された内容について、あらかじめ公表した事業者選定基準に示す基礎的事項を満たしていることを確認した。

3) 提案内容の総合評価

審査委員会は、事業提案書に記載された内容について、事業者選定基準に示す採点基準に従って、配点表に基づき得点化し、「五洋建設グループ」の提案を最優秀提案として選定した。

審査委員会における総合評価の結果は、別紙審査講評に示すとおりである。

6 落札者の決定

市は、審査選定員会で選定した最優秀提案を踏まえ、平成 29 年 10 月 6 日に「五洋建設グループ」を落札者として決定した。

＜五洋建設グループ＞

代表企業	五洋建設株式会社札幌支店
設計企業	五洋建設株式会社札幌支店
	(株)ホクスイ設計コンサル 中外テクノス(株)
工事監理企業	(株)ホクスイ設計コンサル
	中外テクノス(株)
施設建設企業	五洋建設株式会社札幌支店
	(株)協和エクシオ
	藤建設(株)
運営管理企業	五洋建設株式会社札幌支店
	(株)協和エクシオ
	藤建設(株)
	(株)稚内衛生公社【協力企業】

7 PFI事業者の事業契約に基づく財政支出の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業をPFI事業として実施する場合の市の財政支出と、市が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、現在価値換算で2.6%の削減が見込まれるとともに、落札者の優れた提案により、事業期間を通じて良質な公共サービスを提供することが期待できる。

財政支出の削減効果（現在価値換算値：基準年＝平成29年度）

① 従来方式による稚内市財政支出	2,714,600千円
② PFI方式における稚内市財政支出	2,644,427千円
PFI方式の導入による財政支出の削減効果 (①－②)	70,173千円 (2.6%)